

森の癒やし 整備道標

遊

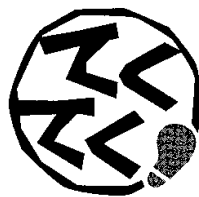


ひと休み

「溝口農場」
手焼きのワッフルコーンのハスカップソフトクリームが有名。軽食もある。午前10時30分～午後6時30分。不定休（ただし改修など休みの場合も）。☎0145・22・3666

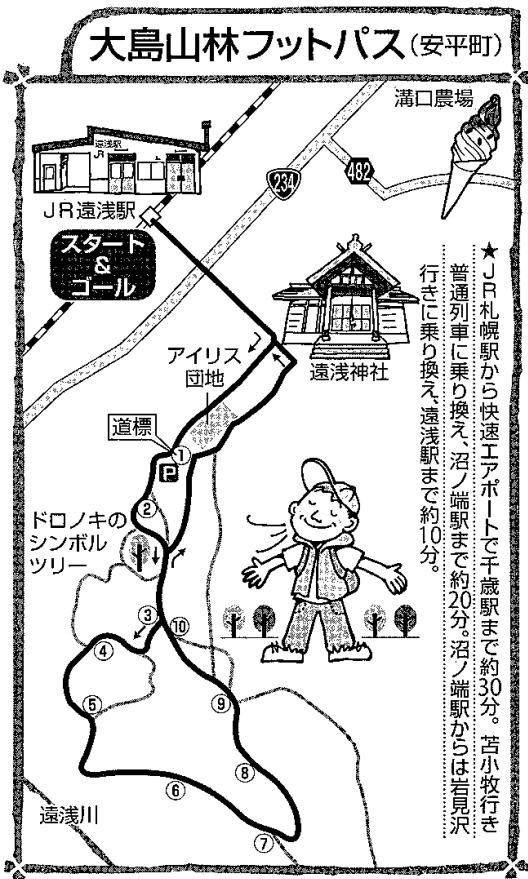
安平町の苫小牧市寄りに位置する遠浅地区は、大規模な牧場や日本最古の木造サイロがあるなど酪農とゆかりの深い地域だ。今回はNPO法人「苫東環境コモンズ」が地元住民の協力を得て、維持・整備している約4キロの「大島山林フットパス」を紹介する。里山気分を味わえる癒やしの行程だ。途中、たぐさんの道標があるので、マップと照らし合わせながら歩いてほしい。

JR遠浅駅前を国道234号方向へ進む。国道を渡り、



編 道標 フットパス

公園の入り口には、フットパスの看板と「ノーザントレイル」の道標①がある。園内に入り、道標②がある三差路を右方向へ。100メートルほど進むと、前方に池が見えてくる。続いて左手に、しめ縄の巻かれた大島山林フットパスのシンボルツリー、ドロノキの立つ三差路に出る。周辺はよく整備されていて、気持ちよく歩ける。この三差路を左へ進み、次の三差路は右に折れる。周囲は明るく、適度に緩い起伏があって、癒やしの森を実感できる。



★JR札幌駅から快速エアポートで千歳駅まで約30分。苫小牧行き普通列車に乗り換え、沼ノ端駅まで約20分。沼ノ端駅からは有見沢行きに乗り換え、遠浅駅まで約10分。



よく整備された癒やしの森の中を歩くフットパス

道なりに進み、道標③がある三差路を右へ。そのまま300メートル進む。途中、道標④⑤が出てくる。⑤を右に曲がってから、しばらく道なりに進む。この辺りは大島山林フットパスの中でも森深い

位置になるので、周辺の自然環境を存分に楽しみながら歩こう。

道標⑦を過ぎて道なりに600メートル進むと、来る時に通った道に行き当たる。途中、⑧⑨⑩と三つの道標を通り過ぎる。道標⑩から約200メートル分かれ道にぶつかるので右前方へ。直進すればアイリス団地だ。

団地を出て、右へコースをとり、自動車道沿いを進むと、300メートルほどで遠浅神社に行き当たる。神社前の道を進めば、スタート地点の遠浅駅に到着だ。

(エコ・ネットワーク 小川浩一郎 ☎011・737・7841、Eメール eco@hokkai.or.jp)

読売新聞
2012.09.21